

令和6年9月24日

各位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理部 部長
役職・氏名 中山 聖仁
電話 03-6880-1201

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和6年7月22日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

令和7年3月期 第2四半期業績予想数値の修正(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純損益	1株当たり 中間純損益
前回発表予想(A)	百万円 1,400	百万円 120	百万円 120	百万円 △240	円 銭 △49.38
今回発表予想(B)	1,400	190	190	△170	△36.75
増減額(B-A)	0	70	70	70	
増減率(%)	0.0	58.3	58.3	—	
(ご参考)前期実績 (令和6年3月期第2 四半期累計期間)	1,498	204	201	191	35.72

令和7年3月期 通期業績予想数値の修正(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想(A)	百万円 2,800	百万円 280	百万円 280	百万円 △90	円 銭 △23.24
今回発表予想(B)	2,900	450	450	80	9.93
増減額(B-A)	100	170	170	170	
増減率(%)	3.6	60.7	60.7	—	
(ご参考)前期実績 (令和6年3月期通 期)	2,713	187	187	160	26.14

修正の理由

売上高の足元(当第2四半期累計期間)の推移は、ほぼ前回発表予想(令和6年7月22日開示)どおりに推移しております。第2四半期会計期間の強化製品「レッドパワーセラム」は、前第2四半期累計期間(14,756 セット)を、約1割上回り推移しておりますが、またレギュラー製品の受注も前第

2四半期累計期間を約2割上回って推移しております。ただし、前第2四半期累計期間比較して、当第2四半期累計期間の新製品である健康食品「ユージェナ バイタル EX」の売上高は小さく、全体として、当第2四半期累計期間の売上高は前第2四半期累計期間に対し、減収となりそうな状況です。

売上原価につきましては、比較的原価率の低い製品の売上構成比が高くなっていること、また工場における製造原価低減努力により、想定していたよりも、売上原価率が低く推移しています。

販売費及び一般管理費についても、固定費の削減が順調に進んでおり、営業利益および経常利益が出やすい構造になってきております。

以上の状況を踏まえ、令和7年3月期第2四半期累計期間業績予想数値につきましては、売上高予想を1,400百万円に据え置く一方、営業利益予想を120百万円から190百万円に、経常利益予想を120百万円から190百万円に、中間純損益予想につきましては、△240百万円から△170百万円に修正致します。

一方、下半期においては、大型新製品(普及価格帯スキンケア製品)の投入を行う方針です。それにより、課題の一つである「愛用者づくり」に本腰を入れて取り組んでまいります。下半期は新製品も多く、売上が期待できる状況となってきております。

そのため、令和7年3月期通期予想につきましては、売上高予想を2,800百万円から2,900百万円に引き上げ、営業利益予想280百万円を450百万円に、経常利益予想280百万円を450百万円に修正致します。当期純損益につきましては、△90百万円から80百万円に修正致します。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上